

## ニュースレター 「SDGs・ESDをひろげるための“ちば”拠点づくり」

### 【開催報告】 SDGs・ESD 理解促進公開セミナー

■日時 2021年10月3日(日) 13:30~16:00

■会場 オンライン (Zoom)

■参加者 46名 (市民・行政・事業者 他)

■次第 趣旨説明

基調講演 「自治体の地域づくりを通じた  
SDGs+ESD 実践」

講師：大崎地域世界農業遺産推進協議会 事務局長 高橋直樹 氏  
(大崎氏産業経済部世界農業遺産推進課長)

事例紹介 ① 持続可能な環境としての獣害対策 等

紹介者：合同会社アルコ代表 沖 浩志 氏

② 移住・定住促進の「まちづくり」

紹介者：NPO 法人いすみライフスタイル研究所副理事長 江崎 亮 氏

意見交流会 (Zoom ブレイクアウトルーム)

■主催 特定非営利活動法人環境パートナーシップちば

■後援 千葉県 南房総市 館山市 鴨川市 市原市 ESD 活動支援センター

■内容

実際の地域づくりや環境保全活動などに、SDGs・ESD の考え方がどのように関連しているかを先進例から学ぶ。

#### 《基調講演》

大崎耕土は古くから厳しい自然環境下で、生活を維持するため水管理に様々な知恵や工夫を重ね発展させ、持続可能な水田として存続している。屋敷林「居久根(いぐね)」や豊かな土地資源が生かされた、人と自然の共生。このような農村環境の魅力を「世界農業遺産」として発信し、特産物の生産や、フィールドミュージアムとして観光や学習の受け入れも積極的に行っている。



大崎耕土の田園風景(ホームページより)

#### 《事例紹介》

千葉県南の活動事例紹介を2つ、

① 合同会社アルコ代表 沖浩志氏 (元館山市地域おこし協力隊)

野生鳥獣の被害が深刻で、千葉県では獣害の半数以上がイノシシによるもので、農作物や人の生活へ大きなダメージを与えている。人口減少や高齢化で里山の手入れが行き届かないなど社会問題も大きく絡んでいる。捕獲したイノシシの廃棄は9割。三方よし(自分、相手、環境)をモットーに、自治体も巻き込んで進めている事業紹介

② NPO 法人いすみライフスタイル研究所 副理事長 江崎亮氏

若手商工業者と行政の協働による自然環境をいかした豊かで明るいまちづくりについて。「地域資源を活かし、自立・分散型の社会を形成」「地域の特性に応じて補完し、支え合う」ことで地域の活力が最大限に発揮されることを目指し、生活の質を向上する「新しい成長」を目指すローカル SDGs となる。地元の自然の中での環境学習も用意されており、生きものの世界の中に、人間の世界が含まれている図も含めて、まちづくりを論理的に、しかし紙の設計図ではなく現実のものとして成功している。

#### 《意見交流会》

8グループに分かれ、講演や事例紹介の感想などを出し合い、交流を深めた。

(事務局)

# 【開催報告】「ひろげる人づくり～SDGs ちばユース活動発表会」

## ビーチクリーン × ユースSDGs × 里山 で未来をめざす

～ユース発表交流会 2021in エコメッセちば～



- 日 時：2021年10月17日（日）10：00～12：30
- 場 所：Zoom 開催（エコメッセちば双方向企画）
- 参加者：34名
- 発表者：「ビーチクリーンとプラごみアート」の活動から：山口俊也さん・土谷悠太さん  
「シェア里山」の体験から：沖 浩志さん、山内広太郎さん  
「地域づくり」に参画すること：井前省吾さん、酒井和樹さん  
「子ども×地域」自然体験を通して得たもの：加藤千晶さん（NPO B-Net 子どもセンター）  
「山陽学園中・高 地歴部のSDGs 啓発活動～問題を『自分事』として捉える実践への挑戦～」：竹岡海晴さん、中原舞子さん  
トークセッションファシリテーター：KOUSAKUさん（bayfm DJ）
- 主 催：NPO 法人環境パートナーシップちば ユース発表会チーム
- 内 容

はじめに「イベント開催に至るまでの経緯と趣旨」として、若者、ユース世代ともっと連携していきたい、地域で活動されている魅力的な方々とユースをつないでいきたい、というコンセプトで、夏にユースと地域の団体をつなぎ、ユースに地域づくりの現場を体験してもらう「地域づくりボランティア体験・交流会」というプロジェクトを実施したお話をしました。

前半の発表は、このプロジェクトに協力いただいた3団体の皆様とそれに参加いただいたユースの皆様から、「ビーチクリーンとプラごみアート」「シェア里山」「地域づくり」について、実際にやってみた感想やユースとの連携などについてお話いただきました。また、大学生主体で地域の子もたちと関わるNPO活動「子ども×地域」の事例についてお話いただきました。

特別発表として、先日、海ごみゼロアワードで環境大臣賞を受賞された、岡山県の山陽学園中学校・高等学校地歴部の皆様に瀬戸内海の海洋ごみ問題への取組など、ホットなユースの活動について発表いただきました。

そして最後のセッションでは、BAY-FM のラジオDJとして活躍され、全国で環境活動や被災地支援にも奮闘されているDJ KOUSAKUさんをファシリテーターにお迎えし、「自分ごとになった時・笑顔になっていくために」などのテーマでのトークセッションをしました。発表者の皆様とのトークを通じて、2030年サステナブルな未来に向けて、一人ひとりができることを、ご参加の皆さんと一緒に考え、発信する時間でした。



これらの詳細は、環パホームページ上にYouTube 配信しますので、ご覧ください。

発表会開催後、ふりかえりと次年度の検討をしました。拠点事業の中でも見えやすい部分がユース発表会企画でしたが、今年の反省点としては、準備不足、PR 不足による参加者不足などがあげられました。環境パートナーシップちばの持っている情報を整理・整頓して見える化、データベースの作成やデータの拠点が必要、人と人、人と団体、人と情報のつながりが必要、などの中間支援団体としての役割の話にもつながっていきました。

2022 年度は学生主体の活動の応援を継続したい、そのためには明確な目標設定が必要で、地域おこし起業コンテストのようなアイデアや、企画のPR 方法についても要検討という意見も出ました。今後、ユース発表会チームと一緒に活動できる人の募集もさせていただきたいと考えています。

（事務局）

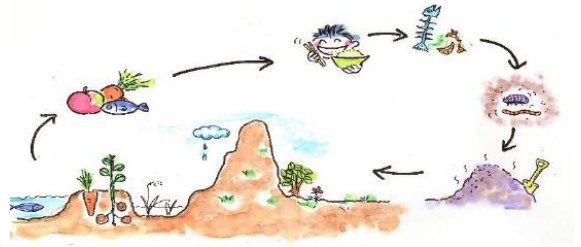
## 【開催報告】

# ESD プログラム体験会

## オンラインで学ぶ ESD プログラム（資源循環）公開体験会

- 開催日時：2021年11月7日（日）
- 会場：オンライン（Zoom）
- 主催：特定非営利活動法人 環境パートナーシップちば
- 内容：

この会は、主催者環境パートナーシップちばが2018年から3年間に取組んだ事業の柱である「ESD 地域リーダー育成事業」に参加された地域リーダーの作った環境学習プログラムを体験してブラッシュアップに役立てようと、今年度のプロジェクト事業の一つとして開催したものです。



新型コロナ禍のもと活動に制限が加えられる中、会場からのオンライン（zoom）中継という形で実施しました。特に参加者の皆さんが出来るだけリアルな体験を得られるよう、予行演習を重ねたライブ配信でした。

講師の津本純子氏（NPO 法人ピオスの会）より「～SDGs/ESD と私たちのつながり～生ごみリサイクル教室」の発表があり、発表後に意見交流会の場が設けられて中身の濃い話題で盛り上がりました。

発表は、講師が実際に千葉市内の小学校で総合学習時間に実施しているプログラムを再現、前段は《生ごみ堆肥の解説》で千葉市内の生ごみの現状を説明し、後段は生ごみ堆肥化の方法が実演され、参加者から熱心な質疑が行われました。（事務局）

## ESD プログラム体験会「オケラとトトキ」 ～安馬谷里山の恵みを知る！～

11月28日南房総市安馬谷において「オケラとトトキ」のプログラム体験会がありました。参加者は総勢40名です。青空のもと、安馬谷里山研究会の横山さんのガイドで里山の秋を楽しみました。

安馬谷里山研究会会長の横山武さんから、26年という長きに渡って里山の保全に取り組んでこられた熱い思いと安馬谷里山研究会の活動を聞きました。人の手で守られてこそその里山。一見そこにあることが当たり前のように見える自然は、まごころのこもった日々の手入れによって実現しているのだということが分かりました。また、オケラ・トトキ・ノビル・ヨモギなどの里山の恵みが食を豊かにしてくれるお話も聞きました。



本物の自然にリアルに触れる体験は、どんなプログラムにも勝ると実感しました。ESDのプログラムに取り組む前に本物の自然の営みにじかに触れることが、SDGsへの理解を深めるのだとの思いにいたりしました。

気持ちの良い空間で気持ちよく人との交わりを楽しむことはセラピーロードの名にふさわしく、歩き終わった後は心も体もリフレッシュし、エネルギーが湧いてくるのを感じました。何より御年84歳という横山さんの若々しさに、里山のもつ不思議な力を感じました。

安馬谷里山研究会の方々の至れり尽くせりのおもてなしに、元気をいただきました。みなさん、ありがとうございました。（体験会参加者）

## 【開催報告】 第2回拠点づくり会議

- 日 時：11月8日（月）13:00～16:00
- 場 所：とみうら元気倶楽部（交流室 健康相談室・オンライン（Zoom））
- 参加者：26（会場:17名 オンライン:9人）（市民団体、事業者、行政）
- ファシリテーター：石井雅章氏 神田外語大学グローバル・リベラルアーツ学部 教授
- 主 催：NPO 法人環境パートナーシップちば



会場（とみうら元気倶楽部）の様子

### 《主なプログラム》

- ・第1回会議ふりかえり
- ・拠点づくりに向けてのワークⅠ  
☆ありたい地域に向けて、具体的な拠点づくりのアイデアを考える。  
（宿題からのアイデア抽出案を参考に）
- ・拠点づくりに向けてのワークⅡ  
☆アイデア実現に向けての拠点の機能、運用方法検討

第1回拠点づくりでの「ありたい地域」への意見をふまえて、第2回までの宿題として「ありたい地域イメージに近づくため、この拠点でどんなことができたらいですか？」「拠点が出来たら私ができること」が提出され、それを基に、第2回会議ではワークを行いました。ハイブリット開催でしたので会場を2グループ、オンライン1グループの計3グループで協議し、全体へ報告する形で進めました。

ワーク1での主な意見は、多様な人が集まり交流出来る場は必要。それは具体的な場所か？ネットワークでつなぐ場か？・・・今後の課題。

ワーク2では、拠点づくりイメージ図（事務局案）を基に、拠点として、地域・自治体・学校・事業者・NPO等主体の中に加えたい主体。具体的な活動、運営のために必要なものなどについて協議しました。

これらの課題を実現できるように、より具体的な事として、第3回（2月21日）開催に向けて準備を進めていきます。  
（事務局）

### 第2回事業企画・運営会議

- 日 時：7月22日（木）20:00～22:00 場 所：Zoom 開催 参加者：23名  
主 催：NPO 法人環境パートナーシップちば  
内 容：①事務局からの報告  
②各事業チームの進捗報告  
③各事業チームから（提案→協議→決定する）・8/4 拠点づくり会議次第他検討 他

### 第3回事業企画・運営会議

- 日 時：9月16日（木）20:00～21:30 場 所：Zoom 開催 参加者：17名  
主 催：NPO 法人環境パートナーシップちば  
内 容：①事務局からの報告 8/4 拠点づくり会議 10/公開セミナー進捗状況  
②各事業チームの進捗報告及び協議事項  
・SDGs ちばユース活動発表会 ・ESD プログラム公開体験会 11/7、11/28  
・ESD 地域リーダーブラッシュアップ実践研修会  
・10/4 公開セミナー オンラインで開催 ・11/8 拠点づくり会議  
・ちば拠点のHP の検討 ・学校との連携事業 ・いすみ市で開催予定

お問合せ：特定非営利活動法人 環境パートナーシップちば

<https://kanpachiba.com/>

e-mail：[info@kanpachiba.com](mailto:info@kanpachiba.com)

Tel:090-8116-4633

この事業は、地球環境基金の助成を受け実施しています。

